

# 地球環境問題に関する3つの技術

地球環境問題の一つの温暖化対策として、我が国は2050年カーボン・ニュートラルに向け動き始めていますが、具体的な取り組みには社会科学から自然科学まで幅広い知見が必要で、科学的知見を創出し知を普及する使命を持つ大学の役割に大きな期待がかかっています。また大学が、知の拠点として地域の脱炭素化を促し、地域モデルを展開する役割も重要です。そこで今回は、地球環境問題に関する3つの技術について京都工芸繊維大学より3名の講師をお迎えし、下記テーマでのご講演をお願いします。

つきましては、地球環境問題に高い関心をお持ちの皆様へ、また京都工芸繊維大学との「産学連携」にご関心の高い貴社へ、ビジネスへのヒントとなりますようご案内申し上げます。

## ◆講演会

### テーマ ① 『地球環境問題の解決に向けた混相流利用・制御技術の開発』

講師：北川 石英 京都工芸繊維大学 機械工学系 准教授

講演概要：現在、地球環境問題の解決が世界的に強く望まれており、温室効果ガス排出削減のための技術開発が様々な分野において実施されています。本講演では、伝熱機器と輸送機器の性能向上を目的とした混相流利用・制御技術について紹介します。

### テーマ ② 『環境保全に対して有効に作用する触媒材料の開発』

講師：細川 三郎 京都工芸繊維大学 材料化学系 准教授

講演概要：酸性雨や地球温暖化に起因する有害物質を効率良く除去するには、多量の貴金属を含んだ固体触媒材料が必須です。本講演では、固体の中の酸素を活用した貴金属使用量低減型触媒材料に関する最新の研究事例について紹介します。

### テーマ ③ 『低環境負荷プロセスを用いた高分子および繊維材料の機能加工』

講師：奥林 里子 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授

講演概要：紙や繊維など水を使う製造工程は、多量の薬剤使用や乾燥、廃水処理を含み環境負荷が大きくなります。本講演では、電子ビームや超臨界二酸化炭素を用いたドライプロセスによる、高分子および繊維材料の機能化について紹介します。

日時： 2021年12月24日（金） 13:30～15:30

方法： Webexによるオンライン配信

会場： 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスからライブ配信

参加費： 無料